

## 4 事業創出活動

### □ 産業振興分野

#### 関西伝統技法倶楽部

##### 1. はじめに

伝統的工芸品産業(以下 伝統産業)に関わる企業は、最近 30 年余りで企業数、従業員数、売上高は半分以下に減少し、競合他社の廃業・倒産によって何とか存続している企業が少なくない。生活様式の変化、低価格製品の輸入、技術者の高齢化と伝統産業の環境は更に厳しくなり、守るべき伝統技法・道具・材料も消滅しつつある。

新たな伝統技法を活かした製品作りに努めることで伝統産業を残そうとしている企業もあるが、伝統技法を活かすことで製品価格の上昇に繋がり販売が伸びないという、相反する課題に直面している。

最近、自治体や商工会議所などが国内消費の減少を懸念して海外販路支援に力を入れているが、展示会への出展が主目的となり海外向け商品開発・販路開拓は事業プロデューサー任せで大きな成果には繋がっていない。

日本の伝統産業の製品は、サイズ(部屋の広さの違い)やカラー(例えば、欧米では深い黒色はなく黒でしか認識されない)、素材(漆はラッカーとなる)など欧米の生活に合わず伝統技法を使った価値が認められ難い。このため海外で販売するためには、海外向けに新たな製品開発・情報発信・販路開拓などを自らが理解しながら行う必要があった。

関西伝統技法倶楽部は、海外のデザイナーらと協業して海外進出のノウハウを身に付けながら新たな製品開発とブランドを構築し、競争力を高めるようという伝統産業に関わる企業が地域や業種を超えて集まり設立された。

【関西伝統技法倶楽部メンバー 2013年5月現在】

企業名	業種	所在
大東寝具工業(株)	寝具製造販売	京都
(株)井上	仏壇製造販売	滋賀
丸滋製陶(株)	陶器製造販売	滋賀
(有)横山竹材店	各種竹材	京都
(株)古川与助商店	マイクロスリッター加工	滋賀
(有)川崎すだれ	竹製品製造販売	京都
(株)太陽	襖紙製造販売	滋賀

##### 2. イギリスへ

伝統産業企業は、インテリア関連の展示会であるメゾン・エ・オブジェ(フランス)、ミラノサローネ(イタリア)などに出展することが多い。メゾン・エ・オブジェの出展企業数は約 3,200 社、来場者 8 万 5 千人と全部のブースを見て回るのに数日掛かるためバイヤーはチェックしたブースを中心にコンタクトしている。海外の出展企業は約半数で、JETRO の出展料は割引となるが費用合計は約 150 万円程度になると思われ、認知されるまで数年続けて出展する必要があると言われ大きな負担が先行する。

ロンドンでは、9 月のデザインフェスティバルに 4 つの展示会が開催される。それぞれの出展企業数は 300 社前後

なので、規模は小さいがコンタクトされやすいとも言え、海外で出展したことの無い伝統産業企業に向いているとも言える。

更に、優れたデザイン教育で世界中のデザイナーが留学するイギリスは、デザイン先進国でデザインを輸出産業だと捉えている。

海外向け製品をイギリスのデザイナー、企業と共同製作し、ロンドンのショップで常設販売出来れば、「新製品+デザイン→情報発信→販売→情報発信」と製品のブランド化を進め、ヨーロッパ、アメリカへ拡げていくことも可能である。

### 3. ジャパンブランドを受け

当倶楽部は、「関西伝統産業革新プロジェクト」(Re-innovating kansai brand and crafts)<sup>(1)</sup>で、昨年度中小企業庁「ジャパンブランド(戦略策定支援事業)」の採択を受け、9月14日～22日までロンドンで、イギリスのデザイナーらとのワークショップ、デザインフェスティバル中の展示会、ショップ調査を行った。

#### ① ワークショップ

日時:9月15日 9:30-18:30 16日 9:30-18:30

会場: Taylor Tuition 21 Warburton Road, Hackney, City of London

イギリスのデザインは、装飾や製品の形でなく顧客に選ばれる付加価値を作り出すことを目的にしている。このためワークショップは、デザイナーと共に「商品のアイデア」を出しながら、市場分析、製品コンセプト、ブランドメッセージなどを考えていく論理的思考の場となった。最初に、製品分野の市場をビジネス的な視点から参加者が理解するため1日目2社、2日目3社と、1社毎に企業の業態・商品などを紹介し、メンバーを替えながら3つのグループに分かれて、考えつくことを全てポストイットに描き出し(書き出し)複数の視点からグルーピングした。

ブランドイメージを明確にするためには、「Substance」「Positioning」「Perception」とブランドコンセプトを決めていくが、参加したデザイナーらとの商品づくりを考えると共通の認識を出し合うことの方が重要だと思われたため、競合企業やブランドなど固定概念に囚われず、様々なシーン、場所、ターゲットを絞らずにすすめた。メンバーとイギリスのデザイナーが協力すれば日本に拘らないヨーロッパ向け製品を生み出す可能性があった為である。

2日間で5社のアイデア発表は時間的には短すぎたが、メンバーとデザイナーと一緒に取り組んだことで、様々な生活様式(日本にあって英国にない、あるいは英国にあって日本にない)を考えられたことは、商品の使用方法、大きさ、色などを検討する上で役立つと思われる。

#### 【ワークショップの様子】



<sup>(1)</sup>伝統技法を活かした製品のグローバル展開を行うため、イギリスで活動するデザイナーらの協力を得て、新たな製品のデザイン、ブランド戦略、営業活動をするための調査及びネットワーク作りを行い、イギリス市場からブランド(製品)販売と情報発信を始め、ヨーロッパ、アメリカ、アジアと拡大を目指す

## ワークショップにご協力いただいた主なデザイナー

石川俊祐	PddGroupLtd シニアコンサルタント
石原祐一	Tangerine Senior Designer プロジェクトマネージャー
Tai-Jung Lee	Christoph Behling シニアデザイナー
Monica Sogn	Tangerine デザイナー
Joris Beats	Designit シニアデザイナー
大城健作	リッソーニ・アソシエイツ
田中由美子	Sony Creative Center San Francisco シニアデザイナー
浅富旭法	PDD、Tangerine フリーランスデザイナー
Hitomi Kai Yoda	写真家
上房由起	インタラクティブデザイナー イラストレーター

(敬称略)

## ② デザインフェスティバル中の主な展示会調査

同時期のギャラリーなどを使った商品展示・販売を含め、事業の進展度合いにより、どの展示会がどのような効果があるかを見て回った。

- ・Topdrawer・・・既存商品のバイヤー向け
- ・100%design・・・数年前はいい展示会だったらしいが新鮮味が少ない。
- ・Designjunction・・・新しい試みが多いがお祭りので、毎年の会場が定まっていない。
- ・Tentlondon・・・新鮮味もあり、バイヤー、デザイナーの来場も多い。

## ③ ショップの調査

ハロッズ、リパティエの他、デザイナーの Jasper Morrison 直営店などショップを調査。インテリア関連の消費指数が10%と高い英国では、特に、デザインを重視する傾向がある。

## 4. これから

今年は、7社が参加して、ロンドンでのプレゼンテーション、展示会を予定している。2013年度「ジャパンプランド(ブランド確立支援事業 1年目)」に引き続き採択され、事業を進めていく。

日本の伝統産業企業とイギリスのデザイナーやモノづくり企業が協力することで、今までにないグローバルな製品が生まれ、コストやリスクの軽減、ブランド化もしやすくなると考えている。

7社の共通ブランドは、「+noma」(ぷらすのま)で、インテリアに関わる製品を上げるため、9月ロンドンのデザインフェスティバル期間中に、イギリスのデザイナー、モノづくり企業、ショップ、バイヤー、マスコミに対して、メンバーが企業紹介や製品、伝統技法を紹介するプレゼンテーションとレセプション、そして展示会の開催を準備している。

イギリス在住のデザイナー石川俊祐氏、石原祐一氏、在英日本大使館、在日英国大使館など多くの方々の支援と協力によって海外への第一歩が踏み出され、引き続いて支援いただいている。マッチングが進むにつれ、価格設定、契約、配送方法など多くの課題が出てくるが、そうした課題も1つ1つ解決出来れば、海外に出ようとする伝統産業企業のモデルになることが出来る。

伝統的な日本の住環境は、四季おりおり、「伝統技法」が使われた様々なしつらえの道具(インテリア)が生活環境を変化させ生活の時空間を演出しているが、欧米でも時空間を豊かに演出する製品を上げることを期待している。

(文責 客員研究員 近兼 敏)

## ロンドンでの調査日程

9月14日	Workshop の事前説明
9月15,16日	Workshop
9月17日	<p>Brompton Design District を中心にウェストエンドのショップ見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Victoria and Albert Museum ベンチエキシビションを見学</li> <li>・4 Cromwell Place 12 の実験的なプロジェクトが展示を見学</li> <li>・The Conran Shop キッチンやガーデニング用品、文房具などを集めてあり、デザインはシンプルで実用的ななかにもユーモラスなものもある。</li> <li>・Bibendum コンランショップ Bibendum レストランの内装</li> <li>・Mint Shop 変わった一点もののデザインや、あまり日本では見られないタイプのインテリアデザインショップ</li> <li>・WORKSHOP FOR POTENTIAL DESIGN (デザインフェスティバル中の企画展) 見学 周辺に点在する数々のインテリアショールーム</li> <li>・Cassina ・B&amp;B Italia ・Boffi ・Skandium ・Dover Street Market</li> </ul> <p>コムデギャルソン資本のセレクトショップ ・Post Card Tea New Bond Stにあるお茶販売店、開化堂(京都)の製品卸もしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Liberty (デパート インテリアコーナーを主に見学)</li> </ul>
9月18日	<p>展示会 「Topdrower」Olympia Way, Kensington, London ショップ見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OXO Tower (アトリエを兼ねたデザイナーズショップやカフェの施設)</li> <li>・和組-wagumi 日本のものづくりの技術を活かし欧州市場拡大を目指す事をコンセプトとしている、日本のプロダクトを紹介・販売する店舗</li> <li>・Tate Modern Bankside London 展示及びミュージアムショップ見学</li> <li>・Design Museum 28 Shad Thames London</li> </ul> <p>モダンデザインに関する美術館のミュージアムショップの商品を見学。</p>
9月19日	<p>展示会 「100% Design」Angel, Clerkenwell, Old Street, Shoreditch イーストエンドを中心にショップ見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-TwentyTwentyOne -Established &amp; Son ショールーム</li> <li>-Shoreditch Triangle</li> </ul> <p>数々のインディペンデントの店がそれぞれで、色々な催しをしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Jasper Morrison Shop ・SCP ・ Momosan Shop</li> <li>・Irish Crafts Council ・39・39 Unique product &amp; art</li> </ul>
9月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在英国日本大使館 デザイナー、協力企業の紹介、展示会場等の打合せ</li> <li>・展示会 「TENTLONDON」、「Design Junction」 21-31 New Oxford Street London</li> </ul>



【展示会】



【ショップ】



【ショップ「和組」】